宮城舞台技術者協会 部会長・事務局ミーティング　議事録

日時	2021 年　8 月　11 日　12 時　15 分 ～　13 時　10 分	場所	株式会社東北共立　ミーティングルーム
議題	・アンケートについて ・SDGsについて ・会員の研修について ・その他		

出席者	岸浪行雄　橋本徳郎　菊地孝　今野芳明 伊藤幸夫（事務局）　斎藤環江（事務局） 部会長、事務局 6名
決定事項	■次回第３回運営委員会開催日：9月7日13:30～　（株）東北共立 ミーティングルームにて
会議内容	■アンケートについて 内容等精査。決定。8月末日までの回収とする。 ■SDGsについて 県警に確認したところ、『無償引き取り→換金→寄付』は古物商に該当せずとの回答をいただきました。 よって、ダメ釘や楽器の弦等の回収など、会館を利用する一般の方に向け発信してはどうだろうか。 公文協を通し、各会館に箱等設置し、実施してはどうだろうか。→ 次回運営委員会までに、引き続き調べる。 （※参考までに、有償引取をして換金したものに関しては、古物商に該当します。） ■会員の研修等について コロナ禍の中で、日程がたてられない。 足場講習・フルハーネス講習については、他の大きい団体との合同開催とするのは、どうだろうか。 → 講師の交通費や宿泊費を安く抑えることが可能である。 年明けの落ち着いた時期に開催できるよう、引き続き、他団体との調整を続ける。低電圧等研修は、来年度以降で調整。 （※2月の総会の際に、勉強会等をあわせて実施するのも良いのではないか） ■会員懇親会について 12月に予定している会員懇親会について、開催の可否について審議。 → 開催する方向で準備をする。 開催まで、4ヶ月程度。現状、12月も現場が多いと想定されるため、1月開催に向け、準備をする。開催場所等次回までに考える。 参加については、事前に出欠等確認が必要である。

会議内容

■その他

○障害者の方々のコンサート等のバックアップを行なっていくなど、弱者と言われる方々へ手を差し伸べられる方法はないのか。

→支援学校の管轄が、県の教育委員会になっている。県の教育委員会に対し、『我々がどのようなことができるのか』メニュー提示が必要となるということが、わかった。引き続き情報収集に努める。

→あくまでも、奉仕事業の一環として考えていく。